

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(石油:<http://mylibrary.maeda1.jp/oil.html>)

マイライブラリー:0557

(注)本稿は 2022 年 2 月 14 日から 3 月 11 日まで 13 回にわたりブログ「中東と石油」に掲載したレポートをまとめたものです。

2022.3.12
前田 高行

前年の悪夢から脱した五大国際石油企業:2021年度業績速報シリーズ

国際石油企業(International Oil Companies, IOCs)の 2021 年第 4 四半期(10-12 月)及び年間(1-12 月)の決算が発表された。本稿では ExxonMobil(米)、Shell(英)¹、BP(英)、TotalEnergies (仏)及び Chevron(米)の 5 社を取り上げ、各社の売上高、利益、設備投資額、キャッシュフロー及び石油・ガス生産量を概観し、さらに 5 社の業績比較を行う。

目次	頁
I. 5社の 2021 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)業績概要	
1. ExxonMobil	2
2. Shell	3
3. bp	3
4. TotalEnergies	4
5. Chevron	5
II. 2021年の5社業績比較	6
III. 2020年と2021年の5社業績比較	8
IV. 8力年(2014-2021年)業績推移の比較	10

I. 5社の2021年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)業績概要

末尾表 A(利益、売上、設備投資)、B(キャッシュフロー)、C(石油・ガス生産量)参照

(220億ドルの赤字から230億ドルの黒字に転換！)

1. ExxonMobil²

* 同社ホームページ:

https://corporate.exxonmobil.com/News/Newsroom/News-releases/2022/0201_ExxonMobil-earns-23-billion-in-2021_initiates-10-billion-share-repurchase-program

(1)売上高

ExxonMobilの2021年10-12月の売上高は850億ドルであり、また通年売上高は2,856億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ15%及び57%の増加である。2020年は新型コロナウイルス(COVID-19)禍により世界経済が大きく減速、原油及び天然ガスの需要と価格が同時に大幅に下落した。これに対して2021年はOPEC+の協調減産により原油価格が大きく上昇し、また世界経済に復活の兆しが見られ石油需要が回復したためである。原油価格について検証すると、代表的な指標油種である北海Brent原油の2021年の平均価格は54.73ドル/バレルであり、これに対して2020年のそれは41.67ドルであり24%アップしている。

(2)利益

10-12月期及び通年の損益は89億ドル及び230億ドルであった。前年損益がそれぞれ▲201億ドル、▲224億ドルの大幅な損失であったことと比較すると、1年間で劇的に好転している。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は8.1%であり、前年の▲12.4%から大幅に改善している。10-12月期の利益率は2020年が▲27.2%、2021年は10.4%であり、両年の格差は通年を上回っている。

(4)設備・探鉱投資

2021年の年間の設備・探鉱投資額は166億ドルであり、2020年の214億ドルに比べ22%減少している。

(5)キャッシュフロー

ExxonMobilの10-12月期の営業キャッシュフローは171億ドルで前年同期の40億ドルの4倍強に達している。また年間の営業キャッシュフローは2021年が481億ドルであり、前年の147億ドルにくらべて3倍強に膨らんでいる。

なおExxonMobilの決算資料では営業キャッシュフローのみが示されており、投資及び財務キャッシュフロー並びに年末残高は示されていない。

(6)石油・ガス生産量

昨年のExxonMobilの石油生産量は日量平均2,289千バレル(以下B/D)であり、前年(2020年)の2,349千B/Dに比べ3%減少している。天然ガスは日量平均8,537百万立法フィート(以下mmcf)

であり前年と横ばいである。

(昨年末のキャッシュフロー残高 370 億ドル！)

2. Shell³

* 同社ホームページ:

<https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2021/q4-2021.html>

(注)Shell は従来 Royal Dutch Shell の名称で英国及びオランダの二本社制とし、両国の株式市場に上場されていたが、今年から本社及び株式市場をロンドンに一本化して、社名も Shell に変更している。

レポート:「[『女王陛下の Shell\(貝\)』になったロイヤル・ダッチ・シェル石油](#)」参照。

(1)売上高

Shell の 2021 年 10-12 月の売上高は 853 億ドル、通年売上高は 2,615 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ 42%及び 45%の増収である。

(2)利益

10-12 月期及び通年の損益はそれぞれ 115 億ドル及び 201 億ドルであった。前年は 10-12 月期が▲40 億ドル、通年では▲217 億ドルの赤字であり、今期は大きく黒字に転換している。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 7.7%であり前年の二桁赤字(▲12%)から脱却した。

(4)設備・探鉱投資

2021 年の年間の設備・探鉱投資額は 190 億ドルであり前年の 166 億ドルを 15%上回っている。

(5)キャッシュフロー

Shell の 2021 年の年間営業キャッシュフローは 451 億ドルであった。これに対して投資キャッシュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲48 億ドル、▲347 億ドルであった。この結果同社の 2021 年 12 月末のキャッシュフロー残高は 370 億ドルとなっている。

(6)石油・ガス生産量

昨年の Shell の石油生産量は 1,522 千 B/D であり、前年(2020 年)より 4.8%減少している。天然ガスは日量平均 4,164mmcf/d であり前年を 13%下回っている。石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2, 240 千 B/D となり、前年比 8%減となっている。

(5 社の中で利益が最も少ない bp !)

3. BP⁴

* 同社ホームページ:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/fourth-quarter-2021>

(1)売上高

BP の 2021 年 10-12 月の売上高は 522 億ドルであり、また通年売上高は 1,642 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は 38%、通年ベースでは 51%の増収である。

(2)利益

10-12 月期の利益は 23 億ドルで前年同期の 1.7 倍であり、通年ベースで見ると前期の 203 億ドルの赤字に対し今期は 76 億ドルの利益である。損益は改善したが、利益額は比較した 5 社の中で最も少ない。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は前年の▲19%に対して 2020 年は 4.6%である。

(4)設備・探鉱投資

2020 年の設備・探鉱投資額は 128 億ドルであり、2020 年に比べ 9%減少している。

(5)キャッシュフロー

BP の 2021 年の年間営業キャッシュフローは 236 億ドルであった。これに対して投資キャッシュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲57 億ドル、▲181 億ドルであった。この結果同社の 2021 年末キャッシュフロー残高は 307 億ドルとなっている。

(6)石油・ガス生産量

昨年の BP の石油生産量は日量平均 978 千 B/D であり、5 社の中で唯一 100 万 B/D を下回っている。また天然ガスは日量平均 1, 903mmcf/d で前年より 16%減少している。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 1,307 千 B/D となり、2020 年比では 14%減である。

(五社の中で平均的で堅実な決算の TotalEnergies !)

4. TotalEnergies⁵

* 同社ホームページ:

<https://www.total.com/media/news/press-releases/Results-2020-and-TotalEnergies>

(注)Total 社は 2021 年 6 月、社名を TotalEnergies に変更している。

(1)売上高

TotalEnergies の 2021 年 10-12 月期売上高は 603 億ドルであり、また通年売上高は 2,059 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は 10%、通年ベースでは 46%の増収である。

(2)利益

10-12 月期は 58 億ドルであった。通年では 160 億ドルの利益であり、前年 2020 年の損失(▲72

億ドル)からプラスに転じた。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 7.8%であり、前年の▲5.1%から大きく改善している。

(4)設備・探鉱投資

2021 年の年間の設備・探鉱投資額は 133 億ドルであり、2020 年と比べ横ばい状況である。

(5)キャッシュフロー

TotalEnergies の 2021 年の年間営業キャッシュフローは 304 億ドルであった。これに対して投資キャッシュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲137 億ドル、▲255 億ドルであった。この結果同社の 2021 年末のキャッシュフロー残高は 213 億ドルとなっている。

(6)石油・ガス生産量

昨年の TotalEnergies の石油生産量は日量平均 1,500 千 B/D であり、前年(2020 年)比▲3%減であった。天然ガスも前年比 0.6%減の日量平均 7,203mmcf/d である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,819 千 B/D となり、2020 年比▲2%減である。

(売り上げは五社で最小だが利益率は最高の二桁 !)

5. Chevron⁶

* 同社ホームページ:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-announces-fourth-quarter-2020-results>

(1)売上高

Chevron の 2021 年 10-12 月の売上高は 459 億ドルであり、また通年売上高は 1,556 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ 8%及び 65%の増収である。

(2)利益

10-12 月期は 51 億ドル、通年も 156 億ドルの利益であった。前年同期はいずれも赤字であったが、2021 年は他社同様黒字に転換している。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は、10%であり、5 社の中では唯一二桁の利益率であった。

(4)設備・探鉱投資

2021 年の年間の設備・探鉱投資額は 117 億ドルであり、これは 2020 年比で▲13%減である。

(5)キャッシュフロー

Chevron の 2021 年の年間営業キャッシュフローは 292 億ドルであった。これに対して投資キャッ

シュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲59億ドル、▲231億ドルであった。(なお年末のキャッシュフロー残高は開示されていない。)

(6)石油・ガス生産量

昨年の Chevron の石油生産量は日量平均 1,814 千 B/D であり、前年比 3%減であった。天然ガスは日量平均 7,709mmcf/d で前年比 5.7%増である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,099 千 B/D となり、2020 年比微増である。

II. 2021年の5社業績比較

(ExxonMobil/Shell と BP/Chevron で売上高 1 千億ドル以上の差！)

1. 売上高

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-01.pdf> 参照)

ここでは ExxonMobil, Shell, BP, Total 及び Chevron 5社の2021年の売上高を比較する。5社の中で売上高が最も大きいのはExxonMobilの2,856億ドルであり、次いでShellが2,615億ドルである。これに続くのが TotalEnergies の2,059億ドル、BP 1,642億ドルであり、Chevron は5社の中で最も少ない1,556億ドルであった。ExxonMobil 及び Shell の上位2社と BP 及び Chevron の下位2社とは売上高で1千億ドル以上の差がある。

(5社すべてが利益計上、ExxonMobil、Shell は200億ドル超！)

2. 損益

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-02.pdf> 参照)

2021年は景気回復の兆候が見られ各社の利益は伸びた。但し利益額に差があり、最も利益が多かったのは ExxonMobil の230億ドルであった。Shell が201億ドルの利益でこれを追っており、TotalEnergies が160億ドル、Chevron は156億ドルで3位、4位を争っている。これに対してBPは76億ドルの利益にとどまっており、他社に比べて見劣りがする。因みに ExxonMobil の利益を1とした場合、Shell は9割弱、TotalEnergies 及び Chevron は7割であり、BP は ExxonMobil の3分の1にとどまっている。

3. 売上高利益率

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-03.pdf> 参照)

売上高利益率を見ると、Chevron が10%で最も高く5社の中で唯一二桁の利益率であった。これに次いで ExxonMobil(8.1%)、TotalEnergies(7.8%)、Shell(7.7%)が8%前後で並んでいる。一方、BP は4.6%にとどまっている。

(各社100億ドル台で並ぶ設備投資！)

4. 設備投資額

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-04.pdf> 参照)

2021年の5社の設備投資額は Shell が190億ドルと最も多く、続いて ExxonMobil が166億ドル、TotalEnergies 133億ドル、bp 128億ドルである。Chevron は5社の中で最も少ない117億ドルで

あった。5社いずれも投資額は100億ドル台であるが、Shellを100とした場合 ExxonMobil は9割弱であり、TotalEnergies 及びbpは7割、Chevronは6割である。

5. キャッシュフロー

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-05.pdf> 参照)

(注)各社の決算を比較すると、ExxonMobil は営業キャッシュフローのみが明記されており、投資キャッシュフロー、財務キャッシュフロー及び期末残高は不明である。また Chevron は期末残高が明示されていない。

(ExxonMobil、Shell の営業キャッシュフローは400億ドル超！)

(1) 営業キャッシュフロー

2021年1-12月の ExxonMobil 及び Shell の営業キャッシュフローはそれぞれ481億ドル及び451億ドルである。その他3社のキャッシュフローは TotalEnergies が304億ドル、Chevron292億ドルで、bp が最も少ない236億ドルであった。

(4社の中で飛び抜けて多いTotalEnergies！)

(2) 投資キャッシュフロー

ExxonMobil を除く4社の投資キャッシュフローは TotalEnergies が▲137億ドルと飛び抜けて多い。その他は Chevron▲59億ドル、bpは▲57億ドル、Shell▲48億ドルであった。

(借入金返済で財務体質改善を図る各社！)

(3) 財務キャッシュフロー

財務キャッシュフローは4社ともマイナス勘定である。最も大きいのはShellの▲347億ドルで、続いて TotalEnergies▲255億ドル、Chevron▲231億ドル、bp▲181億ドルであった。2020年はコロナ禍の操業率低下による運転資金不足に対処するため、各社はそれぞれの判断で大幅な新規借入れを行ったが、2021年は返済を進め財務体質の改善を目指しているものと見られる。

(4) 年末キャッシュフロー残高

キャッシュフロー年末残高は Shell、BP 及び TotalEnergies3社が明らかにしているが、各社の残高はそれぞれ Shell370億ドル、bp307億ドル、TotalEnergies213億ドルであった。

(石油と天然ガスの比率はbpが3:1、TotalEnergiesは5:5！)

6. 石油及び天然ガス生産量

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-07.pdf> 参照)

(1) 石油生産量

昨年の石油生産量が最も多かったのはExxonMobilの2,289千B/Dであり、5社の中でただ一社2百万B/Dを超えている。ExxonMobilに次いで生産量が多いのはChevron(1,814千B/D)でExxonMobilの8割である。第3位、第4位はShellとTotalEnergiesが150万B/Dで並んでおり、最も少ないbpは978千B/D、5社の中で唯一百万B/Dを下回っている。

(2)天然ガス生産量

天然ガスの生産量が最も多いのは石油と同じ ExxonMobil であり、同社の生産量は日産85億立方フィートで石油に換算すると1,423千 B/D であった。2位は Chevron の77億立方フィート(石油換算1,319千 B/D)。3位以下は Total(同1,285千 B/D)、Shell(718千 B/D)、BP(329千 B/D)と続いている。

(3)石油・天然ガス合計生産量

石油と天然ガスの合計生産量が最も多いのは ExxonMobil であり石油換算で3,712千 B/D である。2位は Chevron の3,099千 B/D でこの2社が合計生産量3百万 B/D を超えている。3位以下は TotalEnergies(2,819千 B/D)、Shell(2,240千 B/D)と続き、bpは最も少ない1,307千 B/D であった。ExxonMobil の生産量を100とした場合、他の4社は Chevron83、TotalEnergies76、Shell60、BP は35となっている。

各社の石油と天然ガスの比率を見ると、ExxonMobil は石油62%、天然ガス38%である。5社の中では石油の比率が最も高いのはbpの75%であり、その他3社の石油:天然ガスの比率はそれぞれ、Chevron(石油59%:天然ガス41%)、TotalEnergies(石油53%:天然ガス47%)、Shell(石油68%:天然ガス32%)である。5社いずれも石油の比率が天然ガスを上回っている。

III. 2020年と2021年の5社業績比較

2020年と2021年の年間平均原油価格は Brent 原油でそれぞれ1バレル当たり41.83ドル及び70.91ドルであり年間では70%近く上昇している⁷。これに伴い各社の売上高も5割前後増加、損益については全社がマイナスからプラスに好転している。

(売上高は前年比1.5倍！)

1. 売上高

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-10.pdf> 参照)

売上高は2020年及び2021年ともに ExxonMobil がトップであった。同社の2021年売上高は2,856億ドルで前年より1千億ドル、57%増であった。これに次ぐのは Shell で前年の1,805億ドルから45%増の2,615億ドルに達した。その他の3社も TotalEnergies が1,407億ドル→2,059億ドル、bp 1,091億ドル→1,642億ドル、Chevron 945億ドル→1,556億ドルとそれぞれ大幅に売り上げを伸ばしている。

(前年のマイナスから一転して全社プラスに！)

2. 損益

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-11.pdf> 参照)

2020年全社が大幅なマイナス決算となり、特に ExxonMobil、Shell、BP3社はいずれも200億ドルを上回る巨額の損失であり、Total 及び Chevron も50~70億ドルの赤字であった。しかし2021年は一転して各社プラス決算となっている。

各社の2020年と2021年の損益を比較すると以下のとおりである。

ExxonMobil(損失224億ドル→利益230億ドル)、Shell(損失217億ドル→利益201億ドル)、bp(損失203億ドル→利益76億ドル)、TotalEnergies(損失72億ドル→利益160億ドル)、Chevron(損失55億ドル→利益156億ドル)

(前年のマイナスからChevronは二桁、ExxonMobilなど3社も8%前後に改善！)

3. 売上高利益率

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-12.pdf> 参照)

上記の通り各社とも売り上げ、利益が大きく改善したため、売上高利益率はマイナスからプラスに転じ、Chevronは二桁の利益率を達成している。2020年から2021年への各社の推移は以下の通り。

ExxonMobil(-12.4%→+8.1%)、Shell(-12.0%→+7.7%)、bp(-18.6%→+4.6%)、TotalEnergies(-5.1%→+7.8%)、Chevron(-5.9%→+10.0%)

(前年比では各社マチマチ！)

4. 設備投資

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-13.pdf> 参照)

五社の2021年の設備投資は2020年と比べ増加と減少が混在している。即ちExxonMobilは2020年の214億ドルから2021年は166億ドルに22%減少、またbp(141億ドル→128億ドル)、Chevron(135億ドル→117億ドル)も減少している。これに対しShellは166億ドルから190億ドルへ15%増加しており、TotalEnergiesもわずかながら増加(130億ドル→133億ドル)している。

5. キャッシュフロー

(営業キャッシュフローが3倍になった ExxonMobil！)

(1)営業キャッシュフロー

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-16.pdf> 参照)

2021年は各社とも前年に比べ営業キャッシュフローが大幅に増加している。特にExxonMobilは2020年の147億ドルから2021年の営業キャッシュフローは3倍強の481億ドルに急増している。ExxonMobilに次いで営業キャッシュフローが多かったのはShellの451億ドルで前年比30%増であった。TotalEnergies及びChevronの2021年営業キャッシュフローは共に3000億ドル前後であり、前年比ではTotalEnergiesは2倍、Chevronは2.8倍であった。bpは5社の中で最も少ない236億ドルであるが、前年比では2倍弱になっている。

(前年を下回る TotalEnergies以外の3社！)

(2)投資キャッシュフロー

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-17.pdf> 参照)

データを公表していないExxonMobilを除く4社の投資キャッシュフローを前年と比較すると、TotalEnergiesは微増であるが、それ以外の3社の2021年の投資キャッシュフローはいずれも前年

を下回っており、特にShellは▲133億ドルから▲48億ドルに急減している。bp及びChevronはそれぞれ▲79億ドル→▲57億ドル、▲70億ドル→▲59億ドルであった。

(プラス勘定からマイナス勘定に変わった BP 及び TotalEnergies !)

(3)財務キャッシュフロー

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-18.pdf> 参照)

4社(ExxonMobil はデータ非公表)の財務キャッシュフローは2020年と2021年で様変わりしている。各社とも2020年はコロナ禍による運転資金不足を補うため大幅な借入れを行っており、bp及びTotalEnergiesは財務キャッシュフローがプラス勘定であった。しかし2021年は通常に復し各社とも100億ドル以上のマイナス勘定に変わっている。

各社の財務キャッシュフローの変化は、Shell(▲72億ドル→▲347億ドル)、BP(40億ドル→▲181億ドル)、TotalEnergies(14億ドル→▲255億ドル)、Chevron(▲37億ドル→▲231億ドル)であった。

(4)キャッシュフロー期末残高

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-19.pdf> 参照)

上記のキャッシュフローを差引した残高を見ると(注、ExxonMobil 及び Chevron はデータなし)、Shellは2020年末の318億ドルから2021年末は370億ドルに増加している。一方bpの2021年末残高は前年比微減の307億ドルであり、TotalEnergies は313億ドルから213億ドルと3割の大幅減であった。

IV. 8カ年(2014-2021年)業績推移の比較

ここでは2014年から2021年までの過去8年間の5社の業績の推移を比較検討する。因みに各社業績と密接に関係している原油価格(Brent)の動きを見ると、2014年は年間平均価格がほぼ100ドルであった。しかしその後2015年は一転して50ドル前半まで下落、さらに2016年は44ドルであった。その後2018年には70ドル強まで回復したが、2019年は再び63ドルに下落、2020年はコロナ禍の影響に直撃され42ドルに落ち込んだ。そして2021年は2018年の水準まで戻っている⁸。このように原油価格は過去8年間に激しく変動しており、5社の売上高及び利益は原油価格に大きく左右されている。

1. 売上高

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-20.pdf> 参照)

2014年の売上高トップはShellの4, 211億ドルであり、ExxonMobilが僅差の4, 119億ドルで続いている。売上高第3位はBP(3, 536億ドル)で、TotalEnergiesとChevronはそれぞれ2, 361億ドル及び2, 120億ドルであった。2015年、16年は原油価格が急落し(上記参照)、各社とも2016年の売上高は2014年の半分近くに下落した。

2017年、18年は一転して原油価格の上昇により売上高は再び上昇した。2018年の売上高は

Shell が3, 884億ドルで2, 3位の BP(2, 988億ドル)及び ExxonMobil(2, 902億ドル)を大きく引き離した。2020年は各社とも売上高が急落、Shell は前年比で半減し、過去8年間では最も少ない1, 805億ドルであり、2014年の4割強にとどまっている。BP も前年比6割減であった。

2021年はExxonMobilが2, 856億ドルで5社のトップとなった。Shell 及び TotalEnergies が2千億ドル台で続き、bp及びChevronが1, 600億ドル前後であった。bpの売上高は2014年の半分にとどまっているが、その他の4社は2014年の7～9割まで回復し、ほぼ2015年の水準である。

(コロナ禍で2020年に激しい落ち込み、そして急回復！)

2. 利益

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-21.pdf> 参照)

2014年から2021年までの8年間の5社の利益の推移を見ると、2014年は ExxonMobil が325億ドルの利益を計上、他社を大きく引き離し、Chevron、Shell、TotalEnergies は100億ドル台、bpは38億ドルの黒字であった。2015年は各社とも利益が急減、ExxonMobil が対前年比で半減したほか、他社はそれ以上に悪化し、bpは赤字に陥った。2017年から2018年は各社とも利益が回復し、Shell及びExxonMobilは200億ドル台の利益を確保、最も少ないbpも94億ドルの黒字であった。

しかし2019年に入ると利益の減少傾向が見られ、コロナ禍が本格化した2020年には全社が赤字に転落、特にExxonMobil、Shell、bp3社は200億ドル強の巨額の損失を計上、TotalEnergies、Chevronもそれぞれ72億ドル、55億ドルの赤字を余儀なくされた。

2021年には各社とも業績が急回復しExxonMobilの230億ドルを筆頭に全社が利益を計上、利益額は2018年の水準に戻った。

(V字回復し過去8年で最高の利益率を示した2021年！)

3. 売上高利益率

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-22.pdf> 参照)

2014年の売上高利益率は、Chevron が9. 1%で最も高く、これに次ぐのが ExxonMobil (7. 9%)、TotalEnergies(5. 4%)、Shell(3. 5%)であり、最も低いbpは1. 1%であった。その後、利益率は一進一退し、BP、Chevron はそれぞれ2015年、16年にマイナスに陥っている。

2020年には5社全ての利益率が大幅に悪化、bpの▲18. 6%を筆頭に ExxonMobil、Shell は二桁台、Chevron 及び Totalも▲5%台の売上高損失率を記録している。2021年には各社ともV字型に回復し、Chevron 10. 0%を筆頭に、ExxonMobil 8. 1%、TotalEnergies 7. 8%、Shell 7. 7%、bp 4. 6%といずれも過去8年間で最高の利益率であった。

4. 設備投資

(図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-23.pdf> 参照)

2014年の設備投資額は Chevron が403億ドルで最も多く、次いで ExxonMobil(385億ドル)、Shell(317億ドル)、TotalEnergies(241億ドル)で bp が最も少ない238億ドルであった。2015年、16年の2年間は各社とも連続して減少している。その後 ExxonMobil は増加に転じたが、他社は横ばいまたは減少を続けた結果、2019年の設備投資額は ExxonMobil が311億ドルと2015年の水準に戻ったが、他社は2016年以降ほぼ横ばいの状態にとどまった。

2020年は業績悪化の影響を受けて ExxonMobil が前年より100億ドル近く設備投資を削り、その他各社も軒並み削減している。2021年の設備投資は各社によって対応が異なり、ExxonMobil、bp、Chevronが前年よりさらに削減した一方、Shell及び TotalEnergies は増加している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2021年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績(1)

年		ExxonMobil	Shell	bp	TotalEnergies	Chevron
売上高(百万ドル)	2021年10-12月	84,965	85,280	52,238	60,348	45,861
	前年同期	73,786	60,044	37,867	54,729	42,552
	増減(%)	15.2%	42.0%	38.0%	10.3%	7.8%
	2021年1-12月	285,640	261,504	164,195	205,863	155,606
	前年1-12月	181,502	180,543	109,078	140,685	94,471
	増減(%)	57.4%	44.8%	50.5%	46.3%	64.7%
利益(百万ドル)(*)	2021年10-12月	8,870	11,461	2,326	5,837	5,055
	前年同期	▲ 20,070	▲ 4,014	1,358	891	▲ 665
	増減(%)	-144.2%	-385.5%	71.3%	555.1%	-860.2%
	2021年1-12月	23,040	20,101	7,565	16,032	15,625
	前年1-12月	▲ 22,440	▲ 21,680	▲ 20,305	▲ 7,242	▲ 5,543
	増減(%)	-202.7%	-192.7%	-137.3%	-321.4%	-381.9%
売上高利益率(%)	2021年10-12月	10.4%	13.4%	4.5%	9.7%	11.0%
	前年同期	-27.2%	-6.7%	3.6%	1.6%	-1.6%
	2021年1-12月	8.1%	7.7%	4.6%	7.8%	10.0%
	前年1-12月	-12.4%	-12.0%	-18.6%	-5.1%	-5.9%
設備投資(百万ドル)	2021年10-12月	5,808	6,236	3,633	4,285	3,660
	前年同期	4,771	5,206	3,491	4,531	3,177
	増減(%)	21.7%	19.8%	4.1%	-5.4%	15.2%
	2021年1-12月	16,595	19,000	12,848	13,307	11,720
	前年1-12月	21,374	16,585	14,055	12,989	13,499
	増減(%)	-22.4%	14.6%	-8.6%	2.4%	-13.2%

2021年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績(2)

年		ExxonMobil	Shell	bp	TotalEnergies	Chevron
営業キャッシュフロー —(百万ドル)	2021年10-12月	17,124	8,170	6,116	11,621	9,500
	前年同期	4,005	6,287	2,269	5,674	2,300
	増減(%)	327.6%	30.0%	169.5%	104.8%	313.0%
	2021年1-12月	48,129	45,105	23,612	30,410	29,200
	前年1-12月	14,668	34,105	12,162	14,803	10,600
	増減(%)	228.1%	32.3%	94.1%	105.4%	175.5%
投資キャッシュフロー —(百万ドル)	2021年10-12月	n.a.	2,579	▲ 1,332	▲ 3,912	▲ 1,400
	前年同期	n.a.	▲ 5,406	573	▲ 4,476	▲ 700
	増減(%)	-	-147.7%	-332.5%	-12.6%	100.0%
	2021年1-12月	-	▲ 4,760	▲ 5,694	▲ 13,656	▲ 5,900
	前年1-12月	▲ 18,459	▲ 13,278	▲ 7,858	▲ 13,079	▲ 7,000
	増減(%)	-	-64.2%	-27.5%	4.4%	-15.7%
財務キャッシュフロー —(百万ドル)	2021年10-12月	n.a.	▲ 11,764	▲ 4,739	▲ 15,134	▲ 8,300
	前年同期	n.a.	▲ 5,333	▲ 3,132	5,674	0
	増減(%)	-	120.6%	51.3%	-366.7%	-
	2021年1-12月	n.a.	▲ 34,664	▲ 18,079	▲ 25,497	▲ 23,100
	前年1-12月	5,285	▲ 7,224	3,956	1,398	▲ 3,700
	増減(%)	-	379.8%	-557.0%	-1923.8%	524.3%
期末残高(百万ドル)	2021年12月末	n.a.	36,971	30,681	21,342	n.a.
	前年12月末	4,364	31,830	31,111	31,268	n.a.
	増減(%)	-	16.2%	-1.4%	-31.7%	-

2021年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績(3)

年		ExxonMobil	Shell	bp	TotalEnergies	Chevron
原油生産量 (1,000B/D)	2021年10-12月	2,385	1,458	1,004	1,509	1,828
	前年同期	2,325	1,537	1,021	1,483	1,978
	増減(%)	2.6%	-5.1%	-1.7%	1.8%	-7.6%
	2021年1-12月	2,289	1,522	978	1,500	1,814
	前年1-12月	2,349	1,599	1,133	1,543	1,868
	増減(%)	-2.6%	-4.8%	-13.7%	-2.8%	-2.9%
天然ガス生産量 (100万 cfd)	2021年10-12月	8,584	4,080	2,053	7,328	7,736
	前年同期	8,185	4,837	1,962	7,406	7,796
	増減(%)	4.9%	-15.7%	4.6%	-1.1%	-0.8%
	2021年1-12月	8,537	4,164	1,903	7,203	7,709
	前年1-12月	8,471	4,785	2,264	7,246	7,290
	増減(%)	0.8%	-13.0%	-15.9%	-0.6%	5.7%
原油・ガス生産量 (石油換算1,000B/D)	2021年10-12月	3,816	2,161	1,358	2,852	3,117
	前年同期	3,689	2,371	1,359	2,841	3,277
	増減(%)	3.4%	-8.9%	-0.1%	0.4%	-4.9%
	2021年1-12月	3,712	2,240	1,307	2,819	3,099
	前年1-12月	3,761	2,424	1,524	2,871	3,083
	増減(%)	-1.3%	-7.6%	-14.2%	-1.8%	0.5%

¹ Royal Dutch Shell 社は今年1月21日、社名を Shell に変更した。

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2022/royal-dutch-shell-plc-changes-its-name-to-shell-plc.html>

レポート：「『女王陛下の Shell(貝)』になったロイヤル・ダッチ・シェル石油」参照。

² ExxonMobil の売上、利益、設備投資及びキャッシュフローは決算資料の下記項目による。

売上：Total revenues and other income

利益：Net income attributable to ExxonMobil (U.S. GAAP)

設備投資：Capital and Exploration Expenditures

営業キャッシュフロー：Cash Flow from Operating Activities (U.S. GAAP) / Net cash provided by operating activities (U.S. GAAP)

³ Shell の売上、利益、設備投資及びキャッシュフローは決算資料の下記項目による。

売上：Total revenue and other income

利益：Income/loss attributable to shareholders

設備投資 : Capital expenditure, Consolidated Statement of Cash Flow

営業キャッシュフロー : Cash flow from operating activities

投資キャッシュフロー : Cash flow from investing activities

財務キャッシュフロー : Cash flow from financing activities

年末キャッシュフロー残高 : Cash and cash equivalent at end of period

⁴ bp の売上、利益、設備投資及びキャッシュフローは決算資料の下記項目による。

売上 : Total revenue and other income

利益 : Profit (loss) for the period; Attributable to BP shareholders

設備投資 :

営業キャッシュフロー : Net cash provided by operating activities, Condensed group cash flow statement

投資キャッシュフロー : Net cash used in investing activities

財務キャッシュフロー : Net cash provided by (used in) financing activities

年末キャッシュフロー残高 : Cash and cash equivalent at the end of the period

⁵ TotalEnergies の売上、利益、設備投資及びキャッシュフローは決算資料の下記項目による。

売上 : Sales

利益 : Net income (TotalEnergies share)

設備投資 : 12. Net investments

営業キャッシュフロー : Cash flow from operating activities, TotalEnergies financial statements

投資キャッシュフロー : Cash flow used in investing activities, TotalEnergies financial statement

財務キャッシュフロー : Cash flow from (used in) financing activities, Total financial statement

年末キャッシュフロー残高 : Cash and cash equivalent at end of period, TotalEnergies financial statement

⁶ Chevron の売上、利益、設備投資及びキャッシュフローは決算資料の下記項目による。

売上 : Sales and other operating revenues

利益 : Net income

設備投資 :

営業キャッシュフロー : Net cash provided by Operating Activities, Summerrized Statement of Cash Flow (Preliminary)

投資キャッシュフロー : Net cash Used for Investing Activities, Summerrized Statement of Cash Flow (Preliminary)

財務キャッシュフロー : Net cash provided by (Used for) Financing Activities, Summerrized Statement of Cash Flow (Preliminary)

年末キャッシュフロー残高 : (n.a.)

⁷ Shell Quarterly Databook より

<https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2021/q4-2021.html>

⁸ 米 EIA 資料による。 <https://www.eia.gov/opendata/qb.php?sdid=PET.RBRTE.A>